



特集

Special Feature

- ① アドバンス・プログラム開講！
- ② Tメソッドを発展させ、経済経営学部へ！！

- 5 卒業生紹介
- 6 キャンパスレポート
- 10 就職支援の取り組み
- 11 後援会だより
- 12 クラブ・サークル活動
- 14 研究室訪問
- 15 クローズアップニュース
- 16 帝塚山 NEWS&TOPICS
- 18 お知らせ・イベントニュース



帝塚山大学公式イメージキャラクター
「てじかっきー」

「Tメソッド」

経済学部 × 経営学部 × 法学部 の新たな学び

独自の学修法「Tメソッド」とは？

経済学部、経営学部、法学部では、社会で求められる幅広い視野を身につけることを目的に、1年次に3学部共通の基礎科目を学び、2年次から各専門科目に焦点を合わせて深めていきます。また、充実したキャリアプログラムや、より高みをめざす学生のためのアドバンス・プログラムで、学生一人ひとりの可能性をさらに伸ばします。社会において経済・経営・法の関係は切っても切れない関係であり、単一分野の知識だけでは解決が難しい場面も多くあります。そこで、3学部連携によるカリキュラムを通じて、専門科目の理解を深め、「行動する力」「協働する力」「表現する力」を身につけます。

1年次

共通カリキュラムで経済学・経営学・法学の基礎を学ぶ

2年次・3年次

社会科学の基礎を身につけ専門の学びへ

アドバンス・プログラム

※3学部共通
3学部の知識を存分に生かし、各業界トップ企業や難関資格をめざす、エグゼクティブアドバイザーのマンツーマン指導による選抜制特訓プログラム。通常の各学部のカリキュラムに加え、独自の教育プログラムを受講し、めざす進路に近づけます。

4年次

めざす進路に合わせた準備

アドバンス・プログラム概要

5つの特長

1 選抜制プログラム

2年次から始まる少人数の選抜プログラムです。選抜試験は、年度末に成績、取得単位や学修態度、人物評価により行います。3年次に再度選抜を行います。

2 実践重視のカリキュラム

大手企業や国・地方自治体への就職や難関資格取得をめざし、実践重視のカリキュラムを用意しています。現在、奈良市の「ふるさと納税寄附の拡大」に対する提案として、若者の参加を促せるようなふるさと納税制度のあり方について、研究を行っています。

3 早期から行う徹底した社会人基礎力養成

経済学、経営学、法学の知識をもとに社会の仕組みを理解し、世の中に役立つ活動をすすめる上で必要となる基礎的な教養、マナーを身につける指導を早期から行います。

4 グローバルスキルが身につく国際交流プログラム

国際化する社会で活躍できる力とグローバルなコミュニケーション能力を身につけることを目的に、海外のエグゼクティブと交流し、さまざまな国の文化や知識を修得します。

5 専門分野に特化したエグゼクティブアドバイザーによるきめ細かなサポート

各学問の中心分野のプロフェッショナルが、2年次から就職まで徹底的にサポート。目標や資格取得にむけて、きめ細かなフォローを行うことで、めざす進路まで導きます。

エグゼクティブアドバイザー



経済学・公務員試験・TOEIC® 担当

寺地 祐介 准教授
研究分野／都市経済学



経営学・中小企業診断士 資格取得 担当

菅 万希子 准教授
研究分野／サービスマーケティング



法学・行政書士 資格取得 担当

松下 慎一 准教授
研究分野／民法

教育プログラム内容

2年次・3年次

実践力育成プログラム

慶應ビジネススクールのケーススタディ等を活用したグループワークや、県内外の行政と連携し提示された課題をテーマに解決策の研究と実践を行うフィールドワークなどで、課題を解決するための協働する力を磨きます。3年次では、大手企業も取り組んでいるボードゲーム研修を行い、ビジネスに近い環境で課題を発見・解決する力を磨きます。

社会人基礎力養成プログラム

受講生が自ら行うキャリア設計と能力測定に応じてチーム分けを行い、公務員や大企業・中堅企業への就職に向けた基礎力を養成します。2年次は学生が他の学生に解法を解説する授業などで教養の向上に取り組み、一般教養では時事ニュースについて、法・経営・経済の視点から背景や裏側にある問題等を解説します。3年次はめざす進路に分かれて指導します。

国際交流プログラム

国際交流基金 関西国際センターで研修中の海外の若手外交官や公務員、研究者といった関西滞在中の外国人と経済学・経営学・法学の領域をテーマに交流を図ります。ベルリッツの講師による指導のもと、英語でのプレゼン能力とコミュニケーション能力を徹底的に鍛えます。

難関資格取得サポート

エグゼクティブアドバイザーによる個別指導のもと、国家・地方上級公務員試験、中小企業診断士、行政書士、TOEIC® 750点などに挑戦します。

4年次

3年間の学びの集大成

これまでの学びを踏まえ、3つの専門分野の枠を超えた研究に取り組みます。



Benefits による英語でのプレゼンテーション演習 授業の様子

アドバンス・プログラムを受講した学生の声



柏井 雅人さん
経済学部 2年

基礎演習を担当されていたエグゼクティブアドバイザーの寺地先生からの勧めもあり、「授業を通じて人の役に立つことができる」といった点にとても魅力を感じました。そこでぜひ受講してみたいと思い、アドバンス・プログラムに取組むことにしました。授業で学んだことを知識として蓄積するだけでなく、実践できるといった点がこの授業の魅力だと思います。



柳田 泰典さん
経営学部 2年

この授業は、「自分で考え行動する」といった点が多かったことが非常に印象的でした。グループディスカッションやふるさと納税の調査、海外からの外交官との交流、それぞれ留意するポイントが異なりますが、自発的に考え、答えを出すといった点ではいずれも共通点があり、通常は座学の講義形式の授業が多いのに対し、アドバンス・プログラムは特徴的な授業でした。



内田 実花さん
法学部 2年

アドバンス・プログラムを受講し始めたころは、授業についていくのに必死で、自分から発言することがなかなかできませんでした。しかしその後、授業の回数を重ねていく中で、少しずつですが自ずと発言する回数が増えるようになり、進んで授業の進行をするようになりました。この授業に取組んだことで「自発力」が身に付いてきていると実感しています。

グローバル社会で活躍するための異文化コミュニケーション能力を磨く国際交流プログラム

11月11日、アドバンス・プログラムの特殊講義（国際交流特別演習A）を履修する2年生27名が、国際交流基金 関西国際センターで研修を受ける海外の外交官、公務員37名と『国際交流プログラム』を実施しました。生駒市高山竹林園でのお抹茶体験や茶室づくり見学を英語でサポートし、ランチでは、お互いの国の文化などを紹介し、懇親を図りました。続いて英語での日本の四季や祭りにまつわるプレゼンを開催、ベルリッツの外国人講師による授業に2ヶ月間取り組んだ学生たちは、3分間のプレゼンができるまでに成長しました。学生たちは、この交流を通じて異文化への理解を深め、外国語に臆することなくコミュニケーションを行い、将来、世界をフィールドに活躍する人材としての自覚が芽生えた様子でした。



特集

Special Feature

1

アドバンス・プログラム開講！ 官公庁やリーディングカンパニーをめざす人材育成

本学では、官公庁や各業界のリーディングカンパニーなどで活躍できる能力の獲得、難関資格の取得をめざす学生のための選抜制プログラム「アドバンス・プログラム」を実施しています。1年次の成績ややる気などをもとに学生を選抜し、2年次から段階的にキャリア設計を行い、学問を基盤とした社会で活躍するための協働するための協働する力や課題を発見、解決する力を身につけます。同じ志を持つ仲間とともに、専属のアドバイザー教員がそれぞれのめざす進路まで導きます。



百中 進さん

現代生活学部 居住空間デザイン学科 2009年3月卒業
中川企画建設株式会社 建築部 勤務 (1級建築士)

職種に絞って企業を探しました。そして就職活動を継続する中、現在勤務している弊社のことを知り、面接試験を受けた際に、施工管理職での採用とその後の適正によって部署移動も柔軟に行われるという話を聞き、また、施工する建物の種類が多岐にわたっていたことから、多くのものを見て学べる企業ではないかと感じたことから、就職することを決意しました。

ご担当について教えてください。

入社から8年間、現場で施工管理の仕事をしていきます。主な仕事は、工事全体について、施工方法や施工順序の決定、施工図の作成、施工業者との打合せ、そして実際に現場で指示し、竣工時の検査確認まで自分で行います。幅広い専門業種を統括し、取りまわす。幅広い専門業種を統括し、取りまわす。幅広い専門業種を統括し、取りまわす。幅広い専門業種を統括し、取りまわす。

印象に残るエピソードは？

弊社の施工する物件は着工から竣工まで、数ヶ月〜1年か2年という建物が多く、ひとつの仕事に長期関わります。工事中は現場監督数名が現場に常駐し、その建物の工事の全てを担当します。失敗や遅れの許されなかった一つの商品ですので、工事中は苦勞もありますが、完成したときの達成感と言葉に出来ないほど大きく、

大学時代の思い出 ~仲間~

1年のときにフットサルサークルを立ち上げ、3年間代表として活動していました。毎日のようにハトの広場でフットサルをしたのも良い思い出です。東生駒キャンパスで行われるフットサル大会にも毎回出場し、準優勝したこともありました。



学内のフットサル大会にて



打ち合わせ中の百中さん

この仕事の最大の魅力だと思います。初めて担当した建物が竣工し引き渡したときに、その建物の利用者のみならず、泣いて喜んでくれたのは、今でも忘れられない思い出です。

今後の目標とされていることは？

現場所長になり、予算管理まで全てを自分で管理できるようにすることです。これまで以上に責任も重くなり、プレッシャーもかかりますが、所長を経験してやっとな一人前だと思っています。全てが自分の采配で工事を完了させたいときには、また感動も大きいのだらうと思います。早くそのチャンスをもらえるように日々、努力しています。

就職活動に臨む後輩たちへのメッセージを。

就職活動を始めてすぐの時点では、企業説明会などへ足を運んでも、まだまだ分からないことだらけだと思います。就職活動を始めると、自分のやりたいことや将来成し遂げたいことを考えてみると、就職先を探す指針になるのでは無いでしょうか。しかし、学生時代には想像できることと現実はかなり違います。あまり難しく考えず、直感で思い切ってみることも大切だと思います。私は就職して仕事をして、初めて本当の目標が持てた気がしました。後悔だけはしないように、今できることを思い切ってやってみてください。

卒業生紹介

Introduce graduate

どんな学生時代を過ごされましたか？

大学では、いつも製図の課題に追われていたような気がします。実家を離れ学校の近くに一人暮らしをしていたので、授業の終わったあとにも、いつも製図室に残って友達と課題に取り組んだり、談笑したりして過ごしていました。

現在のご勤務先を選ばれたきっかけは？

私は、現代生活学部居住空間デザイン学科で三山剛史教授のゼミに所属していました。就職活動においても先生にいろいろ相談に乗ってもらったのですが、建築を学ぶのであれば、最初は現場に出て現場を見るのが良いとアドバイスをいただき、施工管理の

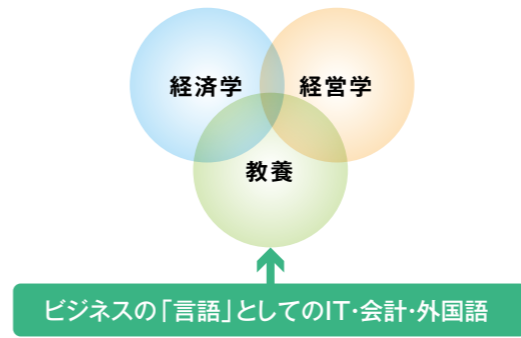
特集 Special Feature 2

2018年4月 経済経営学部始動! (設置構想中)

経済×経営

Tメソッドを発展させ、経済経営学部へ!!

2018年4月に「経済学部」「経営学部」が生まれ変わり、新しい「経済経営学部経済経営学科」がスタートします。経済学部・経営学部では既にTメソッドにより「経済」「経営」の融合教育を行ってきました。これからますますボーダレス化する世界において、「経済を理解した経営」「経営を考えた経済」がごく当たり前になり、英語力が必要になります。今迄のメソッドを発展させ、「経済経営学部経済経営学科」といたします。



経済経営学部の特色

- ① 希望の就職を実現する多彩なプログラム
- ② 実社会で武器になる資格を取得
- ③ 企業人・自治体による講義
- ④ 徹底したインターンシップ
- ⑤ コミュニケーションができる英語力の習得

希望の進路に導く多彩なプログラム

	金融スペシャリスト、不動産スペシャリストプログラム	公務員プログラム	国際観光ビジネスプログラム	流通業界プログラム	企業実務プログラム
1年次 基礎の修得	●金融論 ●ファイナンス入門	●くらしと税 ●地方財政学 ●経済政策論	●観光ビジネス入門 ●消費者行動論 ●人的資源管理論	●マーケティング論 ●生産管理論 ●消費者行動論	●経営戦略論 ●中小企業経営論
2年次 専門基礎と周辺領域の修得	●証券市場論 ●国際金融論 ●統計学入門	●社会保障論 ●金融・財政の現状 ●都市経済学	●統計・情報 (ビジネスデータ分析) ●地域経済学 他	●経済心理学 ●商法 ●応用統計学	●企業論 ●くらしと金融
3年次 専門的知識・技能の深化	●財務管理論 ●証券投資論 ●簿記論 ●会計情報分析 他	●労働経済学 他		●マルチメディアとネットワーク ●経営科学 他	●ビジネスエコノミクス ●産業組織論 ●経営組織論 ●労働経済学 ●経営史 他
4年次 学びの総仕上げ					
めざす進路	都市銀行、地方銀行、信用金庫、証券会社、保険会社、農協、不動産会社	地方公務員、国家公務員、中学校教員 (社会)、高等学校教員 (公民)、国税専門官	旅行会社、ホテル、航空会社 (キャビンアテンダント、グランドスタッフ)	アパレル業界、小売業、卸売業、運輸業、貿易業	地元企業、ベンチャー企業、起業、事業承継

めざせる資格

- 中学校教諭一種免許 (社会) ●高等学校教諭一種免許 (公民) ●ファイナンシャル・プランニング技能士
- 宅地建物取引士 ●日商簿記検定 ●リテールマーケティング (販売士) 検定 ●公認会計士 ●税理士
- 中小企業診断士 ●国内旅行業務取扱管理者 ●TOEIC など

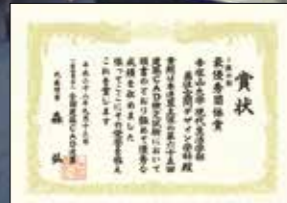
記載の内容は、現在構想中の予定であり、今後変更となることがあります。「経済経営学部」に関する情報は大学ホームページでも発信しています。



06 現代生活学部 居住空間デザイン学科
建築CAD検定試験(2級) 最優秀団体賞を受賞!

7月17日に行われた第62回建築CAD検定試験(2級)にて、本学科から受験した41名全員が合格し、100%の合格率を達成しました。この成績により、本学は一般社団法人全国CAD連盟から2級「最優秀団体賞」をいただきました。なお、合格率の全国平均は61.0%でした。

CADとはコンピュータで設計図などを描くシステムのことで、建築やインテリアの仕事をしていく上では必須ともいえる、重要な技能です。本学科では3年生の授業で「建築CAD演習」を実施しています。昨年の優秀団体賞受賞に続き、素晴らしい成果です。学生のみならず、本当におめでとうございます。



01 文学部 文化創造学科
奈良のイベントに関する講演を実施

7月28日、1年次必修科目「奈良学A」では、ホテルサンルート奈良の中野聖子社長をゲストスピーカーにお招きしました。今回のご講演では、中野社長ご自身が運営に携わってこられた「なら燈花会」(1999年～毎年開催)と「なら国際映画祭」(2010年～隔年開催)の立ち上げ経緯、運営上のご苦労話、イベントにかける思い、奈良への思いを熱く語っていただきました。学生たちにとって、燈花会も映画祭も、奈良を拠点とした「文化創造」的取り組みの絶好の生きた教材であり、贅沢な学びの時間となりました。

07 現代生活学部 こども学科
就職を意識した授業を4年間を通して

こども学科では、本年度より、1年次に基礎演習、2年次に応用演習、3年次と4年次はゼミナールと、就職を意識した授業を4年間を通して開設するようにしました。1年次は、将来、小学校教員、幼稚園教員、保育士のいずれを目指すのかの選択に資する授業、2年次と3年次は、小学校教員が保育者(幼稚園教員、保育士)の進路に応じた実技や筆記試験対策、4年次は主として採用試験対策の授業を展開します。写真はそのコマ。



08 心理学部 心理学科
学部褒賞でさらなる学びを激励

心理学部では、10月19日に学部褒賞学生の表彰式を行いました。これは、帝塚山大学学部褒賞制度に関する規程に基づき、成績優秀学生を表彰するものです。今回は、2年生から4年生の心理学部学生37名が褒賞学生に選ばれました。公認心理師という国家資格の誕生を間近に控え、社会では心理学のニーズが益々高まっています。学生の皆さんには、より高い水準で心理学の知識を修めてもらいたいと思います。心理学部教職員一同、皆さんの学びを応援しています。



02 経済学部 経済学科
経済学部生、プロジェクト演習で活躍しています!

経済学部では、各種プロジェクトの活動に力を入れています。特に今年度前期は、2年生全員が「特殊講義(プロジェクト演習)」を履修しました。プロジェクト演習は5つ開講され、「観光政策」「スポーツ経済」「地域政策」「地域経済の国際化」「キャリアの経済学」、その中から、学生が自分の興味関心で選択しました。学外に出て学び、成果を発表することは良い経験になったといえます。特に「観光政策」では、「大学生観光まちづくりコンテスト2016大阪ステージ」でポスターセッションに出場するという活躍を見せてくれました。



03 経営学部 経営学科
経営学部ニュース

経営学部では、1年次のゼミにあたる基礎演習において、大学での学習方法や学生生活の送り方の基礎について学びます。

7月22日には、前期の締めくくりとしてプレゼン大会が開かれました。1年生全員が2クラス合同で3つのグループに分かれて、「リオ・オリンピック/パラリンピックについて」を統一テーマに設定し、各グループの分析結果が報告されました。

夏休みをはさんで、10月14日には、株式会社マイナビから講師を招いてのキャリア講演会が開かれました。キャリアデザインの観点から今後の学生生活の過ごし方についてあらためて考えてみる、よい機会となりました。



09 現代生活学部 食物栄養学科
「道-1グランプリ」に
TEZUcafe大塔カレーが登場!

9月24日・25日の2日間にわたり、道の駅丹後王国「食のみやこ」で開催された「道-1グランプリ」に、河合ゼミの学生が提供する五條市道の駅学生レストラン「TEZUcafe」の大塔(だいとう)カレーが登場。予選を勝ち抜き、全国各地から集まった約20の道の駅グルメの中から、見事「交流創造賞」を受賞しました。この日は4年生にとって最後の「TEZUcafe」営業日、「道-1グランプリ」での快挙は嬉しい知らせとなりました。



10 文学部 英語コミュニケーション学科
4年生激励会開催

7月26日、学内の「TEZUKAYAMA FOREST CAFE」にて、ゼミナールIIの前期最終回の時間を利用して、英語コミュニケーション学科4年生全員を対象とした激励会を開催しました。大切な夏休みを前に、飲み物と軽食やデザートを取りながら、発表と交流で絆を深め、今後へと向けた新たな鋭気を養いました。これから皆が発表の内容を実践し、最終学年を、いつまでも思い出に残る素晴らしいものにできるように、心から祈っています。



04 文学部 日本文化学科
「特殊講義(日本文化への多角的アプローチ)」が始まりました

歴史や学の多彩なジャンルにわたって日本文化を学べるという、本学科の特色を活かした新設科目が開講しました。多角的な視点で考察する力を身につけることを目的として、共通テーマ(「第1～10回[占い・まじない]、第11～15回[真田信繁(幸村)]」)についてオムニバス形式で講義を行い、学生たちはグループで意見交換をしながら取り組みます。本学科の教員が順番に担当していくという新設のリレー講義に学生の期待も高く、50名を超える学生が履修し、毎回楽しみにしているようです。



05 法学部 法学科
日本銀行大阪支店の見学を実施

8月12日、金融実務講座の一環として、福本葵教授の引率で日本銀行大阪支店の見学に行きました。警察官実務講座、消防官実務講座と同様、金融実務講座でも各業界で活躍されている方から実務経験をふまえてお話しいただいています。前期には銀行編、証券編が行われ、今回は夏休みを利用して中央銀行の役割を知るための見学会が行われたのでした。後期には損害保険編、生命保険編が予定されています。



「奈良学」とは、何とはなしに魅力的な響きのある言葉だと思いが、その魅力とは何であろうか。どこであれ、長いその地の歴史がある。奈良は古い歴史を持つというフレーズは、実は正しくはない。ただ、古い時代の姿がよくわかる場合とそうでない場合がある。奈良は前者のケースの典型といえることができる。数々の古寺や遺跡、それらに関わる文化財など、いろいろなものが思い浮かぶ。私は日本の古代史が専門の分野であるが、東大寺の正倉院に所蔵される文書は、奈良時

奈良学

への招待

奈良の魅力とは？

代古文書のほほすべてであり、歴史の教科書などで時々見かける古代の戸籍などもその一点である。平城京の長屋王邸跡からは、四万点近い木簡が出土した。これらの史料は私たちにどうやって、かけがえない貴重な史料である。そのような歴史的な特徴がやはり、奈良の今の特徴を形作っている。たぶん、少々息苦しいところをともないながら、それが奈良の魅力だ。先人たちの営みがずしりと重い。「奈良学」は多面的に奈良の姿を解明することを目的とするといえるが、奈良の魅



この椅子をデザインしたのは、アールネ・ヤコブセンというデンマークの建築家で、現代において人気の高

い北欧デザインと呼ばれるスタイルを創り出した人物の一人として知られている。アントチェアは元々彼が設計する製菓会社の社員食堂のためにデザインされたもので、多人数が一時に利用する空間に合うよう、小さく軽く積み重ねることができ、さらに安価であることが目指された。そのため、合板を高温蒸気のもとでプレスする成形合板という新しい技術が採用さ

帝塚山大学所蔵 Chair Gallery 紹介

アントチェア (Ant Chair) 1952年

現代生活学部居住空間デザイン学科准教授

矢部 仁見

れ、当時世界で初めてとなる背板と座面が一体の椅子が造られたのである。背面の形がアリの頭のようなことからこの名がついたが、これは一体となった背と座に体重がかかった時、板が割れないよう工夫された結果の合理的な形になったものである。しかしこの形態が発する独特の暖かく少しユーモラスな印象は、多くの人に愛される北欧デザインの世界を現しており、デザインとは合理と美が結びついたところにあることを後世に伝えている。

奈良学総合文化研究所長

鷲森 浩幸

力を十分に引き出すことになれば、成功であろう。



甘樫丘から畷傍山・二上山を望む



1 院生によるティーチング・アシスタントの様子
2 大学院生の福田貴仁さんと浅野祐実さん

帝塚山大学大学院 人文科学研究科日本伝統文化専攻 開設20周年を迎えて

1996年に大学院人文科学研究科(修士課程)が設置され、今年で20年となる。続いて同研究科(博士後期課程)が設置されたのは3年後の1999年である。日本伝統文化専攻は民俗学、考古学(歴史考古学)、美術史学、文献史学(古代史・中世史)、古典文学を専門領域として、高度な専門職業人や学際的視野に立つ研究者の育成を目的として、研究、教育を行なっています。教員や院生は互いに距離を置くことなく、楽しみながら、なおかつ、過保護にならないよう意識しながら、ともに研究しています。個人的な感想ですが、研究室などの雰囲気は、自分自身が育った30年以上も前の大学院に似ているように思われます。同じく学問研究を志した者同士からなる和やかな世界です。

これからも、しっかりと専門領域の研究能力を身に付けた人材を育成することはもとより、自身の興味のある点をぶれることなく、研究していくところを強く求めていきたいと考えています。日本の伝統文化の研究は、すぐに価値を定めることのできる成果があがるわけでもなく、簡単に何かの役に立つわけでもないからです。このところ、自然科学分野における基礎研究の重要性が強調されるなかで、改めて考えた次第です。

人文科学研究科長 鷲森 浩幸

本学教員の執筆図書紹介 Introducing Teacher Research Books



植村 和代
(現代生活学部 教授)著

織物
法政大学出版局
¥3,456



恵阪 悟
(文学部 講師)分担執筆

謡を楽しむ文化—京都の謡の風景
京都市立芸術大学
¥2,000



田中 雅子
(経営学部 教授)著

経営理念浸透のメカニズム
中央経済社
¥2,808



谷 美奈
(全学教育開発センター 准教授)分担執筆

かわりを拓くアクティブ・ラーニング
—共生への基盤づくりに向けて
ナカニシヤ出版
¥2,700



花田 卓司
(文学部 講師)分担執筆

南朝研究の最前線
洋泉社
¥1,080



(著者名50音順)

『岩井宏實先生を偲ぶ会』が催されました。

前号でもお伝えいたしましたが、本学名誉教授の岩井宏實先生(初代人文科学研究科長)が、去る2月29日にご逝去されました。

9月3日には先生にゆかりのある方々により『岩井宏實先生を偲ぶ会』が催され、御遺族を含む総勢166名の方が参加されました。今回、この催しの発起人のお一人である福持昌之様(人文科学研究科 日本伝統文化専攻 博士後期課程 2期生、京都市文化市民局文化財保護課技師)が、岩井宏實先生との思い出を寄せて下さいましたので、掲載いたします。

大きく深く、そして厳しい恩師

福持 昌之

1998年の春、私は岩井宏實先生が研究科長を務める大学院人文科学研究科の聴講生となりました。開講前に先生との面談があり、そこで院生室に机を用意して下さって自由に使ってよいこと、成城大学との学術交流会へ参加することなど、大学院生と同じような待遇を配慮して下さったことに驚きました。人文科学研究科の開設に尽力なされた先生の熱い思いを感じ、私もここで学びたいと思い、翌春に博士後期課程に進学しました。

大学院での先生の授業では、どんな発表に対しても、その院生の学問的志向を考慮しつつ、深めるべきポイントを的確に指示されました。時には、従来の研究の枠をはみ出す柔軟な考え方や、未来を先取りする提案もあり、若い院生ですら思いもつかない柔らかい思考をされていることに、驚いたものです。

ひとつの学問を究めるといことは、ただ狭い範囲を定めて深く掘り下げるだけでなく、他の研究分野や社会の諸要素と絡め合いながら織り成すものだというところを、先生から学びました。



後援会だよりー在校生保護者の皆様へー

News from the supporters' association



保護者教育懇談会を開催しました

10月22日に奈良・東生駒キャンパスで、23日に奈良・学園前キャンパスで保護者教育懇談会を開催しました。両キャンパス合わせて220名の保護者の方々にご出席いただきました。

本会は、全体会で保護者の方々の関心が高い「就職に関する講演会」を行い、その後は学科ごとに別れて、教員による学科説明会、情報交換会、そして立食形式の昼食会での歓談を通して、お客様の大学生生活全般について理解を深めていただくことを目的としています。

今年度の全体会における講演は、株式会社マイナビ様より「今どきの“就活”事情と保護者の支援」を演題に、昨今の就職活動事情と保護者ができる支援についてご講演いただきました。(22日講師：株式会社マイナビ 大阪支社 キャリアサポート開発課長 間瀬 清吾様 23日講師：株式会社マイナビ 関西ブロック長 マイナビ副編集長 藤原 武史様)

また、学科別説明会～昼食会においては、アドバイザー教員との面談や、学部担当の教学支援課職員へ質問や相談をされる保護者の方が多く、どの学科も賑やかに進行していました。

当日いただいたアンケートでは、「就職活動の具体的なお話をたくさん聞いてよかったです」「個人の様子が聞けて親から質問できるとは思っていなかったので参加して本当によかったと思います」「単なる教室での説明会形式のみで終わらず昼食の時間を共有するという点で、先生方との距離感がすごく近くに感じられ、相談するハードルが低くなるので大変良い企画内容だと感じました」などの感想をいただきました。

本学では、保護者の方にも就職活動に関する情報は早期に耳に入れていただきたいと考え、全体会の講演に取り入れています。また、大学生になるとご自宅で大学での様子を話すことが少なくなるというお声を聞きます。保護者の方が感じられているお客様の大学生生活についての不安や心配事を少しでも解消していただく機会となるよう、今後も教職員一同取り組んでまいります。ぜひ、来年の保護者教育懇談会にご参加ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



当日(22日)の参加者数内訳

文・人文	13家庭 (うち日文9、文創4)	19人 (うち日文14、文創5)	※前年17家庭 (日文13、文創3、英語1)	26人 (日文21、文創3、英語2)
経済	27家庭 37人	※前年9家庭 14人	経営・経営情報	17家庭 21人 ※前年12家庭 16人
法	15家庭 21人	※前年18家庭 24人	心理	31家庭 44人 ※前年20家庭 28人
食物栄養	30家庭 45人	※前年12家庭 18人	居住空間デザイン	9家庭 13人 ※前年14家庭 16人
こども	13家庭 16人	※前年17家庭 25人		

保護者対象就職説明会を開催しました

3年次生の保護者の方を対象とした「保護者対象就職説明会」が12月3日、奈良・東生駒キャンパスで82名の保護者出席のもと行われました。

最初に岩井学長から「これから始まる就職活動に向けて理解を深めて、ご協力いただきたい」と挨拶がありました。続いて、中島キャリアセンター課長から「就職活動におけるキャリアセンター活用法」と題して、「データ」「就職活動の流れ」「キャリアセンター活用法」及び「保護者の方にお伝えしたいこと」について説明がありました。

その後、現4年次生によるパネルディスカッションがあり、「忘れられない就職活動のエピソードは」「就活を進める上で大切だと思ったことは」「就職活動をめぐって親子での意見の違いは」「就職活動中のどのような時に保護者のありがたみを感じましたか」などのテーマについて参加学生が考えを述べました。フロアからも「面接のときの質問で印象に残ったものは」などの質問があり、学生は丁寧に回答していました。これから就職活動が本格化する学生の保護者の方は学生が考えを述べる度に熱心にメモを取ったり、頷いたりされていました。

終了後、個別に質問のある保護者の方が教職員に質問し、就職活動に対する疑問を解消していました。



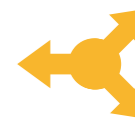
平成28年度帝塚山大学卒業式・帝塚山大学大学院修了式を挙行政

平成29年3月22日(水) 13時00分開式 (入場受付：12時～12時30分)

【会場】グランキューブ大阪(大阪国際会議場) 5階メインホール

就職支援の取組み

Employment support



キャリアセンターより

【4年次生に向けて】

今年度は企業の採用熱も高く、年末に入っても優良企業から求人が届いている状況です。現在、活動中の学生は是非キャリアセンターを利用してください。

【3年次生に向けて】

秋からいよいよ本格的な準備期間を迎えてきました。学内でも個別面談を主として行い、個人個人に合わせた就職支援を実施しています。年が明けると企業によっては活発に動くところもありますので、キャリアセンターを利用して十分な準備をしてから、3月以降の活動に備えてください。

【保護者の方へ】

学生の就職支援について、お聞きになりたいことがありましたら、遠慮なくキャリアセンターまでお問い合わせください。

1. 主な内定先

【建設】	【卸売】	【サービス】	【公務】
大和ハウス工業(株)	(株)日伝	(株)学情	京都府小学校教員
大東建託(株)	エスフーズ(株)	(株)アイテム	大阪府小学校教員
(株)森組	花王カスタマーマーケティング(株)	総合警備保障(株)	警視庁
(株)一条工務店	尾家産業(株)	市民生活協同組合ならこーブ	京都府警察
日成ビルド工業(株)	【小売】	【金融】	大阪府警察
【製造】	イオンリテール(株)	(株)南都銀行	奈良県警察
第一三共(株)	(株)サマンサタバサジャパンリミテッド	(株)第三銀行	
(株)井上天極堂	(株)コスモス薬品	(株)イオン銀行	
朝日電器(株)	ドクターリセラ(株)	大阪シティ信用金庫	
【運輸】	【宿泊】	大阪信用金庫	
近畿日本鉄道(株)	賢島宝生苑	日本郵便(株)	
(株)関空エンタープライズ	(株)京都センチュリーホテル	奈良信用金庫	
(株)丸和運輸機関	(株)関西東急ホテルズ	島田信用金庫	
		奈良県農業協同組合	
		大阪中河内農業協同組合	

2. 平成27年度専門就職の状況

	就職者	専門就職者	%
食物栄養学科	108名	36名	33.3
居住空間デザイン学科	52名	14名	27.0
こども学科	90名	63名	70.0

1. 食物栄養学科の専門就職者は、栄養士、管理栄養士
2. 居住空間デザイン学科の専門就職者は、設計・施行管理
3. こども学科の専門就職者は、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭

3. ガイダンス・合同企業説明会等の予定

4年次生		3年次生	
原則毎週水曜	個別企業説明会・選考会	1月	学科別就職ガイダンス(ナビサイトの活用方法)【学園前】 ※東生駒では、学部別を実施しています。
3月	合同企業説明会	2月	全学ガイダンス【両キャンパス】
		2月	合同企業研究会【東生駒】

【お問合せ先】キャリアセンター

奈良・東生駒キャンパス Tel 0742-48-9688 奈良・学園前キャンパス Tel 0742-41-4751

Pick up!
女子バレー
ボール部

関西大学バレーボール連盟1部秋季リーグ戦が閉幕しました

関西大学バレーボール連盟1部所属の本学女子バレーボール部は、秋季リーグ戦を9位の成績で戦い終わりました。

1次リーグ戦では最終順位3位、関西インカレ優勝の強豪京都橋大学に3-0のストレート勝ちを収めるなど良い戦いもありましたが2次リーグ戦は下位での戦いになりました。

2次リーグ戦に入ってから1、2戦目ともストレート勝ちを収め1次リーグでの鬱憤を晴らすかのような幸先の良いスタートを切りました。

第4戦目は1次リーグでストレート負けを喫した大阪学院大学相手に2セット失った後、脅威の粘りでフルセットに持ち込み、3-2の逆転で勝利する戦いもありました。

2次リーグの通算成績は3勝2敗とし下位リーグ3位、全体で9位の成績で秋季リーグは終了しました。

満足のいく成績を残せず悔しい思いをバネに、11月12・13日に行われた「西日本インカレ」ではベスト8に入りました。

現在はこれから始まる、全日本インカレで納得のいく成績を残せるよう練習に精進しています。

最近では多くの方々に応援に来場いただき力となり感謝しています。

これからも是非会場にお越しいただき、女子バレーボール部へのご声援をお願いいたします！



奈良・東生駒 CAMPUS

アーチェリー部

この思いを一矢にこめて

私たちアーチェリー部は現在2年生2名と1年生1名の3名の少人数で活動を行っています。しばらく休部状態でしたが2015年度から再活動しております。普段は週3回の練習ですが、今年の夏は奈良県吉野郡の黒滝村で合宿を行い日頃以上の特訓を行いました。8月16日～18日、服部緑地公園内の陸上球技場に特設レンジを設け「第56回関西学生アーチェリーターゲット選手権大会」が開催されました。大会に参加し1回戦敗退でしたが合宿の成果か、個人成績は昨年度の同大会よりはるかに良い成績でした。合宿最終日の花火大会と共に、ひと夏の思い出が作れました。現在は12月の「第21回関西学生アーチェリーインドア選手権大会」に向け、夏の大会より好成績が残せるよう部員たちで工夫をしながら練習中です。これからもアーチェリー部の発展へ皆様の応援のほどよろしくお願い致します。



奈良・東生駒 CAMPUS

茶道部

皆様にやすらぎを提供しております

茶道部では9月下旬に集中稽古として老人福祉施設においてボランティアのお茶会を行いました。お点前を披露し、と一緒に楽しんでいただける企画も行いました。入居されている方には以前茶の湯を嗜んでいる方もおり、「若い方と共通の話題でお話ができるのは楽しい」と大好評でした。

現在は大茶盛式で有名な西大寺にて毎年、5月に行われる「学生お茶会」が実施できるよう準備を整えています。多くの方に茶の湯を知っていただくよう様々なイベントを考えておりますので是非一度第一クラブハウスの新和室を訪ねてください。お茶の成分にはリラックス効果があることが確認されています。「やすらぎ」を提供いたします。



奈良・東生駒 CAMPUS

CLUB ACTIVITIES
クラブ・サークル活動

クラブ・サークルを通して、学内外で活躍する帝大生。学生たちの元気な姿をお届けします。

Pick up!
Switch
ヘルスチーム
菜良

学内サークルのコラボで広がる世界

5月に大阪・南堀江にて、学園前のダンスサークルSwitchと食育推進で活動するヘルスチーム菜良が学生企画イベントでコラボしました。「異なる場で活動する2つのサークルが交わる時」をレポートしました。

Switch

毎週同じスケジュール、毎日同じ学科だけの同じ仲間と過ごしている囚人のような生活から脱出しよう！という目的でイベント～囚人脱出～を企画しました。

学科やサークルの枠を超えて交流するため、ヘルスチーム菜良に声をかけました。ヘルスチーム菜良は栄養面を考えたお菓子「マシュグラバー」を作って販売し、イベントの盛り上がりに一役買ってくれました。創作スイーツをみて、さすがだなと感じました。

自分達だけでイベントを企画するには様々な準備が必要でとても大変でしたが、学内だけでなく学外の人にも自分達のダンスを見てもらい、イベントを成功させることで大きな達成感を得ました。

また、他のパフォーマーやメイク、美容師といった各分野のプロの技術に触れ、自分達ももっと頑張ろうと思える良い機会になりました。



ヘルスチーム菜良

Switchの代表から「ぜひヘルスチーム菜良にもイベントに参加してほしい」と声がかかったとき、ヘルスチーム菜良としても同じ大学に在ながら、一緒にイベントをすることがなかったので、新しいことをしてみたいと感じました。また、「ダンスと食」という組み合わせも面白いなと思い、参加することになりました。いつものサークルとは違った空気感で不思議な感じがしましたが、交流を通してお互いのサークルを知ることができましたし、また違うことにも挑戦したいという向上心にも繋がりました。また一緒にイベントができればいいなとも思っています。



奈良・学園前 CAMPUS

シニアサポート HARU

高齢者の皆さんが健康に過ごせるようサポートします!

生駒市内の地域の高齢者を対象に月に1～2回健康教室を行っています。当初はゼミ内での活動でしたが、幅広く支援していくため、今年度にサークルを立ち上げました。健康教室の内容は、栄養に関する講義や運動、調理実習です。具体的には、減塩についての講義や、調理実習、転倒予防・認知症予防の運動(ストレッチ、脳トレ等)、身体測定、血圧測定を行っています。現在は27名ほどで活動しており、今後はより多くの地域に活動を広げていきたいと思っています。



奈良・学園前 CAMPUS



1 リニューアルオープンしたテヅカフェ
2 現地調査から30分の1スケールの模型を作成
3 ストローを利用した天井モビールの制作風景

居住空間デザイン学科が TEZUcafe (テヅカフェ) のインテリアを担当

現代生活学部・居住空間デザイン学科の学生たちが「TEZUcafe(以下、テヅカフェ)空間デザインプロジェクト」を完成させました。テヅカフェは奈良県五條市との地域連携事業の一環として、本学食物栄養学科・河合洋見教授の指導の下、居住空間デザイン学科の有志学生がテヅカフェの内装デザインを手掛けました。参加希望者を募集した当初は4年生6名だったメンバーも、最終的には2年生・3年生を含む15名に増えました。通常の授業の実習ではデザインの提案と設計図書のまとめが主体となるため、実際の現場作業や業務プロセスの習得に興味を持って参加した学生が多かったようです。

初回の現地調査は、カフェの冬期休暇中に行われました。既存図面の入手が困難であったため、コンベックスやレーザー距離計を使用して求めた実測情報のみから、平面図とスタディモデルを作成しました。スタディモデルを囲んで毎週行われたデザインミーティングでは、現状の課題として「インテリアに統一性がない」という点、学生レストランであることが伝



紺色に塗り変えた壁に割り箸のパネルを設置

わらない「地域(五條市)のPR性がない」という点などが挙げられました。ブレインストーミングの結果、まずは学生レストランという一番の特徴をデザインに組み込むために、「食べる知識」というコンセプトが決定されました。具体的には分子モデルのように見える構造物を天井から星のように吊るすモビールが採用されました。制作には北欧の収穫祭の装飾であるヒンメリ(本来は藁で作られる)が参考とされました。またこれに伴い、コンセプトカラーは夜空を表現する紺色が採用されました。さらに五條市の特産をデザインに使用することを決め、割り箸で作った壁面パネルを、日本文化の伝統的意匠である市松模様を敷いたデザインが提案されました。割り箸については、五條市の企業から一万膳の寄付を受けることとなりました。材料のサンプル発注、試作・検討、実験、積算、発注、制作という過程を通してあらかじめデザインパーツを大量に作り、5日間の現場作業に臨みました。最初の2回は既存の白いクロスに塗り替える作業を行い、それから割り箸の壁パネルの設置、天井モビールの設置、テーブルの天板の設置、椅子の座面の張替えなどの作業を行いました。こうして2016年5月8日、ゲ



現代生活学部 / 食物栄養学科

河合研究室



現代生活学部 / 食物栄養学科
河合 洋見 教授 HIROMI KAWAI

甲子園大学栄養学部栄養学科卒業。学士。管理栄養士。日本栄養改善学会、給食経営管理学会評議員、日本臨床栄養協会評議員、新調理システム推進協会理事、日本医療福祉セントラルキッチン協会監事、(社)調理技術技能センター理事。2015年3月より奈良県五條市「五條市観光大使」に就任。

河合先生のご専門と研究のいきさつについてお教えください。医療現場に長く勤務していた経験から臨床栄養と給食経営が専門分野になります。医療制度改革の方向性の医療体制が変わったことから、地域連携を基盤とした栄養ケアシステム構築の必要性を訴えてきました。テヅカフェは、五條市の道の駅「吉野路大塔」にある閉鎖されていたレストランを復活させることができないかと持ち掛けられ、ゼミ生が「やりましよう」と言ったのがきっかけでした。河合ゼミでは、数年前から野迫川村に行つて過疎化が抱える生活上の課題について調査していました。その頃から、南部振興支援のために学生の力で何かできないかと模索していたこともあり、このレストランを「学生で復活させれば面白いかも知れない」と考えました。

ゼミナールでは、学生ごとのような取組を行っておられますか。五條市との地域包括連携協定に基づいた活動で、地域振興支援と人材育成を目的に、道の駅「吉野路大塔」でテヅカフェを運営しています。管理栄養士を目指す学生が、大学で学んだ知識とスキルを活かして、メニュー開発、調理、接客、財務管理など、全ての業務を実践する体験学習です。他にも、JR大阪駅「時空の広場」で「自然と遊ぼう!食を学ぼう!」をテーマにした「サマーフェスタ」や小学生を対象に「親子料理教室」などを開催。また、ご当地グルメ「大塔カレー」で「道一グランプリ」に挑戦。「交流創造賞」を受賞し、学生企画の「大塔カレー」が商品化されることになりました。これらの取組は就職活動にも大いに役立っています。今後のご研究の方向性や抱負についてお教えください。残されている時間は少ないですが、引き続き、テヅカフェ活動を中心に「奈良県南部」の振興支援に尽力します。具体的には、テヅカフェの集客数をどのように増やすか。五條市の柿を使用したご当地グルメの商品開発もその1つですが、学生のあらゆる可能性に期待して、お客様に喜んでいただける新しい企画を提案したいと思っています。また、2025年を目標に、在宅医療の推進を目的に「地域包括ケア

The Voice of Seminar Students ゼミ生の声



河合ゼミでは、五條市道の駅「吉野路大塔」で地域振興支援を運営しています。メニュー開発、調理、接客、経営のすべてを学生で行います。大学から2時間半(約70km)の距離を毎週土曜日に行つて、日曜日の営業です。苦しい時もありましたが、お客さんに喜んでいただくことの楽しさ、仲間との絆、課題解決への努力や忍耐の大切さなど多くのことを学ぶことができました。私は、病院栄養士を目指しています。医療現場ではチーム医療による栄養管理が重要視されています。将来、ゼミ活動で得た経験を活かして「患者さん」や「医療チーム」から信頼される管理栄養士として活躍できるよう努力します。

システム」の構築が進められています。しかし、在宅医療の体制も食事提供システムの未来像も描かれていません。今後、地域ごとに食事提供を含めた医療・介護の供給体制を築く必要があり、食事提供についてどうすべきかを検証したいと思っています。学生たちへメッセージをお願いします。私は「体験に勝るものはない」という言葉を信条にしています。知識として知っていることと、自分の身体で体験して知ることでは、まるで意味が違います。学問があっても、断片的な知識ばかり詰め込んでいたために、実際の現場では全く役に立たないことが多いです。ゼミ生の皆さんは、チーム力と実行力を発揮して、テヅカフェ運営やプロジェクトを最後までやり遂げました。多くの社会人との交流を深めました。気づいてないと思いますが、仕事に対する責任感や忍耐力、協調性、コミュニケーション能力など、社会人に必要な資質を知らないうちに磨いてきました。この経験を活かして、これからも自信をもって、何事にも挑戦して欲しいと思います。



▼21日 「球場を満員にするプロジェクト2016」大盛況！

産官学連携「球場を満員にするプロジェクト2016」の集大成である「オリックス・バファローズ対阪神タイガース」が佐藤薬品バファローズスタジアムにて行われました。春からの試合に向けて準備してきた学生たちの頑張りが実を結び、多くの方にお越しいただくことに成功しました。



▼21日 地域連携イベントを開催

奈良県五條市との地域連携イベント「自然と遊ぼう！食を学ぼう！」を大阪ステーションシティ時空（とさ）の広場にて開催しました。3回目となる今年には自然豊かな五條市をアピールするための企画やダンスショーなどを行い、会場は多くの方で賑わいました。



▼26日 奈良県ネット安全安心推進フォーラムでパネリストとして登壇

奈良県立教育研究所大講堂にて平成28年度「奈良県ネット安全安心推進フォーラム」が開催され、トークセッションでコーディネーターを経営学部の日置慎治教授が担当し、専門家揃いのパネリスト5名のうちの1人として、法学部3年の藤井健留さんが登壇しました。



▼24日 公開講座＆ウォーク「豊浦寺」

歴史編・考古編・美術編を開催 飛鳥をフィールドとした生きた大学教育の推進並びに飛鳥地域の保存・発展に寄与することを目的に、本学と公益財団法人古都飛鳥保存財団は連携協定を結んでおり、その一環として「豊浦寺」をテーマとした歴史・考古・美術の3分野ごとに文学部の教員3名による公開講座を開催しました。



▼28日 奈良・東生駒キャンパスにおいて平成28年度9月卒業式を挙げる

▼5日 「帝塚山大学同窓会 第38回東日本支部同窓会」を横浜にて開催

▼27日 アドバンスプログラム履修者が西日本インカレ2016本選に出場決定！ 経済・経営・法の3学部連携教育プログラム「アドバンスプログラム」の一環として、本学チームが「大学生のためのプレゼンテーション大会 西日本インカレ2016（合同研究会）予選」に参加。「若者参加型 地域を活性化するふるさと納税」という題目のプレゼンテーションで見事1位を獲得し、本選への出場が決定しました。



▼29日 「EZUcate」活動報告会を開催

五條市役所において「帝塚山大学「EZUcate」（テヅカフェ）活動報告会」を開催しました。「EZUcate」第2期生が本プロジェクトの締めくくりとして、太田好紀五條市長、堀内伸起五條市教育長をはじめとする関係者の方々に対し、活動内容の概要報告およびグループに分かれての報告発表を行いました。



▼29日 防犯ボランティア講座を開講

法学部では奈良県警察本部の協力による特殊講義「防犯ボランティア講座-犯罪・非行のない安全・安心なまちづくり」を今年も開講。この日行われた初回の講義では奈良県警察本部・生活安全部の方から、本講座の趣旨や、奈良県内の犯罪に関する情勢、学生ボランティアの活動内容について説明がありました。

▼22日 四天王寺大学と合同ゼミを実施

経営学部の田中ゼミと、四天王寺大学経営学部の木村ゼミが、四天王寺大学あべのハルカスサテライトキャンパスで「優良企業について考える」をテーマに合同ゼミを実施し、それぞれのゼミで情報を収集・調査・分析した結果を報告しました。



▼28日 「帝塚山大学の日」弁当発売開始

現代生活学部食物栄養学科の4年生が考案した献立を、株式会社味の和和路に監修いただいた「帝塚山大学の日」弁当がならこコープの夕食宅配にて発売開始となりました。第2弾は、2017年2月に登場予定です。



虹色祭・ホームカミングパーティを開催しました



11月19日から2日間、奈良・東生駒キャンパスにおいて、第52回「虹色祭」(大学祭)および第5回ホームカミングパーティを開催しました。

今年のテーマは「Color Full」です。若干の雨模様にもかかわらず、初日から会場は賑わいを見せ、クラブ・サークルによる展示・発表、ダンスショーなど、盛りだくさんのイベントが開催されました。模擬店では、学びに直結した「実学の帝塚山大学」ならではの出店も見られ、いずれも完売という盛況ぶりでした。1日目のフィナーレを締めくく르는ステージでは、三戸なつめさんの歌とトークのライブパフォーマンスに多くの観客の方が声援を送りました。2日目も多数の方にご来場いただき、フィナーレの打ち上げ花火では大きな歓声が湧きあがりました。また、卒業生を招いたホームカミングパーティでは、本学吹奏楽部の演奏や福引き大会で盛り上がる会場で、多くの卒業生が恩師や友人との再会に旧交を温めている姿が見られました。



多摩大学との大学連携による「地域アクティブラーニング」の取り組み紹介

今年6月12日から14日の3日間、本学経営学部の学生が、学術交流に関する包括協定を締結している多摩大学(東京)の学生とともに、合同授業「特殊講義(地域アクティブラーニング)」の取り組みで、広島県と島根県の中堅企業と観光振興の現場を訪問しました。

この授業では、地域を代表するような有力企業への訪問とヒアリング、地域観光資源の発掘、地域の方々との積極的な交流を中心としたフィールドワークを実施し、地域産業やキャリア形成に関する視野を広げることを目的としています。学生たちは、訪問前には企業研究をおこない、訪問後にはヒアリング結果を分析し、それを報告書にまとめました。

学生たちからは、「他大学の学生との交流で刺激を受けた」、「奈良も観光地なので他の観光地のこと聞いてよかった」、「地域の有力企業の社長さんの話が聞いてよかった」、「自分を見つめ直すきっかけになった」などの感想が聞かれ、充実した学びの機会となりました。



中村 健太さん 経営学部 経営学科 3年生

今回、この授業に取組んでみようと思ったきっかけは、より実践的な社会勉強ができると感じたからです。また、実際に企業へ赴き直接お話を聞くことで、一層理解を深められると思ったからです。実際に広島と島根へ足を運んでみて、普段では見ることのできない企業の裏側を見させていただくことができました。さらに、社長や従業員の方々のお話を直に聞くことで、その企業をより身近に感じることができ、沢山のことを学べる貴重な機会となりました。

今回訪問した企業のほとんどが、第二次世界大戦の大空襲やリーマンショックを経験しており、中には工場等が焼失したという企業や経営が危ぶまれた企業もありました。そのような際にも冷静に今後の方針を見つめ直し、現在置かれている状況や環境に合わせた対応をされて困難を乗り越えてこられた点を、自身でも今後参考にしたいと感じました。



スタートは「ワンストップ構想」。学生があちらの部署とこちらの部署を行ったり来たりしないで済むよう、1つの場所で手続き等が終結するために考えられたものです。実はこの構想は昨秋よりもずっと前からありました。紆余曲折あって今日に至り、ようやく実現に至っています。

現在、職員にとってこの「ワンストップ」は部署間の距離が近くなって情報の共有がし易くなり、便利なことが増えました。一方、教員にとっては従来の事務室から遠くなり、足が遠のいた感もあります。長短ありといったところでしょうか。

しかし、何よりも学生に利便性を感じてもらうのが一番です。「一か所で手続き、用件が済み便利になった」であればいいのですが「たくさん職員や学生が見ている話しづらくなった」なら改善の余地を求めねばなりません。また、奈良・学園前キャンパス（心理学部や現代生活学部）の学生にとっても利便さが実感できないと、真のワンストップとはいえません。

奈良・学園前キャンパスでは、キャンパス発足当初から16号館3階に学生生活課と教学支援課（心理学部、現代生活学部）が一つのフロアにあり、学生生活をサポートしています。学生にとっては、事務室が一つであることは、必要な手続きが一箇所で済み、相談事項についても、関係部署との連携が迅速に行われ、適切に学生対応が図れる体制が整備されていると思われます。また、今回は、16号館3階事務室前に新しい証明書自動発行機が2台に増設され、多くの学生が利用しています。

帝塚山大学は今後も学生の声に耳を傾け、「ワンストップサービス」が学生にとって便利であることは勿論、ひとつの居場所になれば、と考えます。学生の、保護者のみなさまの声、アイデアをお聞かせください。



- 第379回** 2月18日(土) 14:00～15:30
出土木製品からみた大和の古墳出現期の様相
講師：鈴木 裕明氏(奈良県立橿原考古学研究所)
- 第380回** 2月25日(土) 14:00～15:30
蘇我氏の邸宅と瓦
講師：清水 昭博(帝塚山大学)
- 第381回** 3月11日(土) 14:00～15:30
日本の鬼瓦—その歴史と江戸時代・斑鳩の瓦師たち—
講師：寺農 織苑氏
(帝塚山大学大学院人文科学研究科研究生)
清水 昭博(帝塚山大学)
- 第382回** 3月25日(土) 14:00～15:30
国防を見据えた近江朝と古代寺院
講師：甲斐 弓子氏(学園史料室特別研究員/
帝塚山大学考古学研究所特別研究員)

定員：各回200名
会場：奈良・東生駒キャンパス2号館2101教室

【お問合せ先】
帝塚山大学考古学研究所・附属博物館
〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel 0742-48-9700 Fax 0742-48-8783
考古学研究所：http://www.tezukayama-u.ac.jp/arch
arch@tezukayama-u.ac.jp

Information from the Museum 博物館からのお知らせ

企画展示 第9回帝塚山大学博物館実習生による
『型でつくるやきもの』
帝塚山大学所蔵コレクションから中国、朝鮮半島で出土した銅製の鏡53面を選び、鏡に表された文様をもとに鏡にこめられた古代の人々の想いを考えます。この展覧会は帝塚山大学学芸員課程を履修する学生が企画、展示し、展示解説も行います。

【期 間】 1月16日(月)～2月4日(土)
【開館時間】 9:30～16:30
【入 場 料】 無料
【休 館 日】 日曜・祝日
(1/26・27は休館)
【展示解説】 15:45～17:21(土)、28(土)
13:00～17:24(土) 予定

【お問合せ先】
帝塚山大学附属博物館
〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel 0742-48-9700 Fax 0742-48-8783
http://www.tezukayama-u.ac.jp/museum/

Information from the Student Support Center 学生支援センターからのお知らせ



帝塚山大学（奈良・東生駒キャンパス）では学生が最もよく利用する学生生活課と教学支援課を1つのフロアに集約し、学生生活をサポートしています。昨秋に学生の利便性向上のために、それまでキャンパスに散在していた事務室を集約。新しい証明書発行機を導入し、既存のキャリアセンターと併せ奈良・東生駒キャンパス9号館は学生が必要とする事務組織が集中して生まれ変わりました。あれから1年。それまで戸惑っていた学生も、迷うことなく事務室を利用しています。

訃報
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
帝塚山学園元顧問、元評議員、大学経済学部 元学部長、元教授 中道雄先生が、平成28年11月5日、享年90歳にて永眠されました。
ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



- 第1回** 2月27日(土) 10:00～11:30
「大和の源九郎狐の活躍『義経千本桜』」
 - 第2回** 3月5日(土) 10:00～11:30
「吉野に散った恋『妹背山婦女庭訓』」
- 定員：50名 ※全2回講座
講師：後藤博子(帝塚山大学文学部准教授)
会場：西部公民館 4階 会議室



浮世絵「妹背山婦女庭訓」(帝塚山大学所蔵)

【申込・お問合せ先】
往復ハガキ(講座名・〒住所・電話番号・名前(ふりがな)・年齢を必ず記入)
または、下記URLより「参加申込」フォームでお申込みください。
公益財団法人 奈良市生涯学習財団 西部公民館
〒631-0034 奈良市学園南三丁目1番5号 西部会館内
Tel 0742-44-0101 Fax 0742-44-0103
http://manabunara.jp/

帝塚山大学奈良学総合文化研究所 「名品・名作誕生XIV」

- 第1回** 1月28日(土) 10:30～12:00
【演題】 尾崎紅葉「むぎ玉子」の成立
講師：西尾 元伸(帝塚山大学文学部講師)
- 第2回** 2月4日(土) 10:30～12:00
【演題】 伊勢物語と歴史
講師：内田 美由紀(帝塚山大学文学部非常勤講師)
- 第3回** 2月18日(土) 10:30～12:00
【演題】 『古事記』と『日本書紀』の英雄像
講師：若井 敏明(帝塚山大学大学院非常勤講師)
- 第4回** 2月25日(土) 10:30～12:00
【演題】 仏師快慶の阿弥陀如来像をめぐって—造形の展開と制作背景—
講師：杉崎 貴英(帝塚山大学文学部准教授)

定員：各回100名
会場：奈良・東生駒キャンパス1号館1301教室(第2回のみ1201教室)

【お問合せ先】
帝塚山大学 奈良学総合文化研究所
〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel 0742-48-8842 (火・木・金 9時～17時)

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館共催 市民大学講座

- 第377回** 1月21日(土) 14:00～15:30
『型でつくるやきもの』展によせて
講師：仁尾 一人氏(兵庫陶芸美術館)
- 第378回** 1月28日(土) 14:00～15:30
岡本太郎、信楽へー信楽焼の近代とその遺産—
講師：畑中 英二氏(滋賀県教育委員会)

2017 January-June INFORMATION & EVENT NEWS

冬季一斉休業のお知らせ
帝塚山大学は、12月28日(水)午後～1月5日(木)まで、冬季一斉休業期間となっています。お電話、メール等のお問合せにはお応えできませんので、あらかじめご了承ください。メールやホームページからのお問合せに対しては、一斉休業終了後に順次対応させていただきます。

Open lecture 公開講座

帝塚山大学経済学部・経営学部公開講座

第1部 経済学部 要申込 聴講無料
「家計の金融資産とリスクマネー」
我が国家計の金融資産の特徴として、預貯金など安全資産の比率の高さが知られています。そこには病気や老後に対する備えの性格が見られます。しかし金融資産に過度の安全性を求めると、蓄積された富の享受は難しくなります。金融資産には、過去の蓄積を拡大し生活を豊かにする役割もあります。本講では、金融工学の立場から、家計の金融資産におけるリスクを抑制しつつ、収益力を向上させる手段について考えます。

3月11日(土)9:30～10:50
講師：志馬 祥紀(帝塚山大学経済学部教授)

第2部 経営学部
「国際観光における伝統生活文化の役割」
観光と文化は密接な関係を形成していますが、有形の文化観光はどこの国でも構造的類似性や同質化が進んでいます。近年、人々の文化経験をどのように提案すべきなのか、それに対する答えとして観光の創造的側面に注目した概念が登場しました。本研究では“家”という概念が秘める生活文化のビジネス化に注目します。国際観光の本質は異文化理解です。ローカルの価値をどのように解釈し、発信するのにより観光行動は決まります。

3月11日(土)11:10～12:30
講師：姜 聖淑(帝塚山大学経営学部准教授)

定員：各回50名
会場：奈良・学園前キャンパス 18号館3階18311大講義室
※どちらか1講座だけのお申込みも可能です。

【申込・お問合せ先】
ハガキ・FAX・大学HPよりお申込みください。
①講座名②郵便番号・住所③氏名(ふりがな)④電話番号・FAX番号⑤年齢・性別を明記の上、「帝塚山大学 広報課 公開講座係」までお申込みください。
帝塚山大学 広報課 公開講座係
Tel 0742-48-9192 Fax 0742-48-6092
http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/lectures/

帝塚山大学・奈良市生涯学習財団 西部公民館共催公開講座

「奈良の魅力再発見—歌舞伎・文楽を通して—」
江戸時代、奈良は文化の香り高い地として知られ、幕末の奈良奉行の日記でも「奈良の女のおよきといふは空ごとならず。美なるが多」と言われています。奈良の豊かな文化、そこに住まう美しい人々のイメージは、奈良を舞台として描かれた歌舞伎や文楽の作品にも現れています。本講座では、現代でも特に人気を集める二つの作品を取り上げ、歌舞伎や文楽を身近に感じていただきながら、奈良の魅力を深く探ってみたいと思います。



国際交流

留学生紹介

経営学部3年生の唐 雪慧(トウ セツケイ)さんは中国雲南省の出身で、日本のサブカルチャーに関心をもったことから日本語の勉強を始め、それがきっかけとなり日本への進学を志しました。まず日本語を修得するために大阪文化国際学校へ入学し、在学中にいろいろな大学のオープンキャンパスに参加した結果、帝塚山大学を第一志望に選んでくれたそうです。日本に来たことも、本学に進学したことも、唐さんは、「縁」があったのだと思う、と表現しました。

大学に入学した時点で、唐さんは自らの日本語能力について、力不足であると感じていました。そこで、大学1年目の目標は「日本語能力の充実」とし、難関である日本語能力試験のレベル・N1に合格しました。結果として、大学での授業もよく理解できるようになり、成績も向上してきました。現在は観光系の授業をメインに勉強しながら、「マーケティング」

グ」のゼミナールに在籍しています。

唐さんは、留学生ながら、日本人の友達の方が多くいらいたそうで、これから、帝塚山大学へ進学してくる後輩の留学生たちになにかアドバイスはありますか?と尋ねると、「せっかく日本に来たのだから、日本語や専門の勉強をするだけではなく、日本人の考え方や生活様式も学び、自分にとって良いと思える点を取り入れると、日本での生活をより有意義に過ごせるのでは」と答えてくれました。

11月には、IFC国際親善部が主催する第41回関西地区外国人留学生による日本語弁論大会へ出場し、3位に入賞。また、本学における第19回帝塚山大学留学生日本語スピーチコンテストでは、「日本の家族、ありがとう」というタイトルのスピーチで見事優勝されました。

唐さんは、日本を第二のふるさとのように思い、将来は日本で就職することも視野に入れ、準備を始めています。



唐 雪慧(トウ セツケイ)さん



外国人留学生による日本語弁論大会で3位入賞

2017年度 学部入試日程一覧

入試区分 (種別)	願書受付期間			試験実施	合格発表日	
	開始	終了	持込			
一般入試	A日程 前期	1月10日(火)	1月20日(金)	1月21日(土) 1月23日(月)	1月26日(木) 1月27日(金)	2月4日(土)
	A日程 後期		2月1日(水)	2月2日(木) ~2月4日(土)	2月5日(日)	2月10日(金)
	B日程	1月24日(火)	2月16日(木)	2月17日(金) 2月18日(土)	2月21日(火) 2月22日(水)	3月1日(水)
	C日程	2月13日(月)	3月3日(金)	3月4日(土) 3月6日(月)	3月8日(水)	3月12日(日)
大学入試センター 試験利用入試	前期 前期(併設 高校)	1月10日(火)	2月1日(水)	-	-	2月10日(金)
	後期	2月13日(月)	3月3日(金)	-	-	3月12日(日)
帰国生徒・ 外国人生徒 試験	後期	1月20日(金)	2月1日(水)	-	2月21日(火)	3月1日(水)
外国人 留学生 試験	後期 指定校	1月20日(金)	2月1日(水)	-	2月21日(火)	3月1日(水)
AO入試	3月	2月27日(月)	3月10日(金)	3月11日(土) 3月13日(月)	3月15日(水)	3月16日(木)

※詳細については募集要項でご確認ください。

【お問合せ先】

帝塚山大学 入試課

☎ 0742-48-9149(直通) ☎ 0742-48-9021

✉ nyushi@jimu.tezukayama-u.ac.jp

2017年度 大学院入試日程一覧

博士前期課程・博士後期課程

出願期間 1月27日(金) ~ 2月3日(金)

締切日消印有効

選考日程 2月14日(火)* 合格発表 2月20日(月)

*選考方法については、下記までお問合せください。

お問合せ先

経済学研究科 経済学専攻

〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1

☎ 0742-48-9861 [教学支援課(経済学部)]

人文科学研究科 日本伝統文化専攻

〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1

☎ 0742-48-8150 [教学支援課(人文学部)]

法政策研究科 世界経済法制専攻

〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1

☎ 0742-48-9461 [教学支援課(法学部)]

心理科学研究科 心理科学専攻(心理学専修・臨床心理学専修)

〒631-8585 奈良市学園南3丁目1-3

☎ 0742-41-4720 [教学支援課(心理学部)]